

平成 22 年度歯科保健事業について

■乳幼児期の対策

歯科保健構想における対策

1. 妊産婦期から乳幼児期にわたる定期的な歯科健康診査体制の推進
2. 乳幼児の発育段階を踏まえた普及啓発や支援の推進
3. 子育て支援の場での普及啓発や支援の推進
4. 母子保健・子育て支援に従事する者の資質の向上
5. 子育て支援に従事する関係機関の連携づくりの推進
6. フッ化物の活用の推進
7. 関係機関連携による歯と口腔の健康づくりを考慮した栄養・食生活支援の推進

①フッ化物集団塗布モデル事業

目的：①保護者に乳幼児期からの歯と口腔の健康づくりが必要であることを啓発する。

②市町村が実行可能な乳幼児歯科保健対策の事業モデルを提供することで、市町村の乳幼児歯科保健対策への取組みを促進する。

内容：フッ化物塗布未実施市町村において、県がフッ化物の歯面塗布を実施し、併せて保護者への健康教育を実施する。

- ・平成 21 年度からの継続 松島町，亶理町
- ・平成 22 年度からの実施 美里町，気仙沼

【11回 延べ728人】

※県内 27 市町村（実施率 77.1%）でフッ化物塗布事業実施

主体：保健所（市町村，地区歯科医師会と連携・調整）

②口腔機能育成者資質向上化事業 H22年度新規

目的：乳幼児の歯科保健水準の向上について、フッ化物の応用に加え、乳幼児健診時に短時間で効果的な保健指導を行うことが求められていることから、マニュアルの整備と講習会を開催し、口腔機能育成者の資質向上を図る。

内容：乳幼児期の歯科保健指導に従事する保健師等を対象に効果的な保健指導の習熟のための講習会を開催。実践的に活用可能なマニュアル（指しゃぶり指導ガイド・間食指導ガイド）を作成。

県庁を会場に講習会を実施【3回開催，191人参加】

主体：東北大学大学院歯学研究科へ委託

③乳幼児むし歯総合予防教室

目的：乳幼児の歯の状態が全国に比して低い状態にあることから、乳幼児期からの歯と口腔の健康管理の必要性の普及・定着の推進と、地域の支援機能の活性化を図る。

内容：子育て世代の親睦の機会・場所を設け、その中で、乳幼児の歯と口腔の健康管理に関する相談や情報提供、ケアの実演等を実施する。

【亶理町・栗原市・女川町・南三陸町 4箇所で開催，303人参加】

主体：宮城県歯科衛生士会へ委託

④ 4. 5歳児むし歯総合対策強化事業

H22年度新規

目的：6歳臼歯が生えてくる4歳、5歳児のむし歯対策を強化するため、保育所等における歯科健診の実態を把握し、分析を行う。また、保育士等を対象にした研修会を開催し、幼稚園・保育所等での歯科保健推進の重要性を普及啓発する。

内容：【幼稚園・保育所歯科保健推進ガイドの作成】

【講習会を県内3カ所で開催、95人参加】

主体：東北大学大学院歯学研究科へ委託、保健所等も連携

⑤ 歯つらつファミリーコンクールの実施

目的：家庭の中で歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を広く県民に啓発する。

内容：コンクール（母と子の部、ファミリーの部）の実施、知事表彰、記念品の授与

主体：県、歯科医師会の共催 ※歯科保健大会において表彰

⑥ 妊娠中からの歯科保健事業

【子育て支援課事業】

目的：妊娠中からわが子の歯科保健に対する関心を高め、乳幼児及び妊婦自身の歯科保健を推進する。

内容：実施希望の市町村において妊婦歯科検診、歯科講話を行う

【5市町村10回実施、80名参加】

また、ポスター作成、配布など歯科保健に関する広報も実施する[県内全域]。

主体：宮城県歯科医師会へ委託

■学齢期の対策

歯科保健構想における対策

1. 将来の実践に生かせる歯科保健教育、歯科保健活動の推進
2. 歯科保健活動のための学校及び地域の連携の推進

① 児童・生徒を対象とした体験学習

目的：早い時期から歯と口腔の健康づくりの大切さに対する理解を促進する。

内容：県内の小・中学校の児童、生徒を対象としてブラッシング指導をはじめ、口腔内カメラ、顕微鏡、ビデオ上映等を活用した健康教育を行う。【20校実施、687名参加】

主体：宮城県歯科医師会へ委託

② 学校歯科保健推進者養成講習会

東日本大震災により中止

目的：地域の学校歯科保健の推進役となる教職員を養成する。

内容：児童生徒の口腔管理・安全対策・健康教育についての講習会を行う。

主体：宮城県歯科医師会へ委託

■成人期の対策

歯科保健構想における対策

1. 全市町村での歯周疾患検診の実施，受診率の向上
2. 地域保健と職域保健との連携による支援体制づくり
3. かかりつけ歯科医を持つことの促進

①市町村歯科検診モデル事業

目的：成人期以降の歯科保健水準を向上させるため，歯周疾患検診未実施市町村においてモデル事業を実施し，市町村における歯周疾患検診の取組を促進する。

内容：特定健診時等に併せて簡易なスクリーニングを実施する【1町で実施，1回75人受診】

主体：宮城県歯科医師会へ委託

■高齢期・障がい児（者）の対策

歯科保健構想における対策

[高齢期]

1. 全市町村での歯周疾患検診の実施，受診率の向上
2. 介護や介護予防に従事する者への支援体制の構築
3. 施設入所者の歯科医療機関による歯と口腔の健康管理の充実

[障がい児（者）]

1. 障がい児（者）の歯と口腔の健康づくりのための地域支援機能の充実・連携の促進
2. 障がい児（者）が利用できる歯科医療サービスの情報提供
3. 施設入所者の歯科医療機関による歯と口腔の健康管理の充実

①要介護者の口腔ケア研修会

目的：要介護高齢者，障がい者の歯と口腔の健康保持の向上を図る。

内容：ヘルパーや施設職員等を対象に，要介護者の口腔ケアの必要性と方法についての研修を行う。

【3回開催，403名受講】

主体：宮城県歯科医師会へ委託

■歯科保健事業の検討・助言体制

①宮城県歯科保健推進協議会

目的：宮城県歯科保健構想の具体的展開を図り，県民一人ひとりの健康状態やライフステージに対応した歯と口腔の健康づくりを推進するために必要な施策に関する事項について検討する。

内容：会議の開催【第1回：平成22年7月22日 第2回：平成23年2月8日開催】

②みやぎ8020運動推進検討会

目的：8020運動推進特別事業に関する事業の円滑な推進を図る。

内容：事業を評価，検討するための検討会の開催【平成22年12月21日開催】